

第38期第20回理事会議事録

日 時：2016年3月22日（火）13時30分～17時50分

会 場：ちよだプラットフォームスクウェア

会議室402

出席理事：新野 宏，藤谷徳之助，岩崎俊樹，榎本 剛，

近藤 豊，塩谷雅人，竹内綾子，竹見哲也，

田中 博，中村 尚，藤部文昭，山田和孝，

以上12名

Web会議システムを通じた出席理事：長谷部文雄，

以上1名

（理事現在数20名）

出席監事：高谷康太郎，以上1名

その他の出席者：下道，渡辺，志村（事務局）

議 題

1. 第38期第19回理事会議事録の確認

2. 会員の新規加入等について

新入会9，退会6を全会一致で承認した。2016年

3月16日現在，会員数3,480名で個人会員は3,233名。

3. 各委員会からの報告

庶務…以下の報告があった。

1) 転載許可

①申請者：林 久美

転載元：第9図，第10図，中村 尚，2003：オホ
ツクの冷たい海と大気循環変動，天気，50，
516-526.

転載先：同上図が転載されている平成24年度季節
予報研修テキスト「季節予報作業指針」（気象庁
地球環境・海洋部）を気象庁HPに掲載。

②申請者：柏野祐二

転載元：Fig.18, Nitta, T., 2007: Convective
Activities in the Tropical Western Pacific
and Their Impact on the Northern Hemisphere
Summer Circulation, J. Meteor. Soc. Japan, 65,
373-390.

第1図，第2図，升本順夫・堀井孝憲，2007：
熱帯域の大気海洋相互作用と気候変動 —イン
ド洋域の変動に注目して—，天気，54，687-690.

転載先：「海の教科書（仮題）」、2016年6月、講
談社ブルーバックス発行予定

③申請者：Delei Li

転載元：Li, D., H. Storch and B. Geyer, 2016:
Testing Reanalyses in Constraining Dynamical

Downscaling, J. Meteor. Soc. Japan, 94A,
47-68

転載先：D.Li's cumulative PhD thesis for
defense in Hamburg University, Germany

2) 後援名義等使用依頼受付

①名称：日本流体力学会年会 2016

主催：（社）日本流体力学会

期日：2016年9月26日～28日

場所：名古屋工業大学

名義：協賛

②名称：第2回気象・環境テクノロジー展

主催：一般社団法人日本能率協会

期日：2016年7月20日～22日

場所：東京ビッグサイト

名義：協賛

3) 第39期役員選挙管理委員会

①3月4日 選挙開票。第3回選挙管理委員会開催。

4) その他

・事務局の気象集誌編集用PCが身代金要求型ウィル
スに感染した。回線から分離して初期化を実施し，
再度の感染がないことと情報流出がないことを確
認した。

・各賞の受賞者決定の報道資料について，記者クラ
ブへの投げ込み資料の案を確認した。

会計…2016年2月分の収支及び現預金検査報告。

企画調整…以下の報告があった。

・大会運営の改善策の最終案を承認し、「天気」に掲
載することとした。

・第2回評議員会への対応として，第1回会合で評
議員等から示された課題に関する，気象学会の取
り組み（報告）について検討を行った。次回理事
会で，再度内容を検討することとなった。

・2014年度に受けた寄付金の処理について，公益等
認定委員会事務局の指摘に沿って，寄託者の意思
が明確に示されているものを指定正味財産に組み
込むこととした。2016年度は指定正味財産の一部
を研究奨励費用に配分することとした。寄付金の
活用方策について，表彰事業に使用することとし，
関係委員会で検討することとなった。検討結果を
受け、さらに寄託者の意思を確認の上，詳細につ
いて理事会で検討する方針が示された。

講演企画…2016年度秋季大会のスペシャルセッショ

ン応募テーマの報告があった。スペシャルセッションと専門分科会の定義を会員に示すべき、との意見があった。

天気…Vol.63 No. 3 (2016年3月号)の掲載記事と、Vol.63 No. 4, 5, 6 (2016年4, 5, 6月号)の予定記事について報告された。

気象集誌…審査中の論文リストの報告。

SOLA…2016年の投稿論文数が28編、出版済みの論文数が22編であることが報告された。また、ACM(Asian Conference of Meteorology) 2015特集号の締め切りを4月30日に延長したことが報告された。

学術…大型研究マスタープラン2017の作業状況について報告。

気象災害…防災学術連携体担当理事から、連携体幹事会について報告。

教育と普及…公開気象講演会の準備状況及びジュニアセッションの申込み状況が報告された。また、気

象予報士CPD制度について、予報士会以外も対象としたシステム構築が進んでいることが報告された。国際学術交流…IFMS(International Forum of Meteorological Societies)第4回会合のレポートに関する情報共有があった。

電子情報…会員向けアカウントについて、アカウントの一括登録の準備状況について説明があった。

人材育成・男女共同参画…保育施設利用ガイドラインの作成を進めていることが報告された。

4. 2016年度事務局の体制について

2016年度の事務局体制については新野理事長に一任することを全会一致で承認した。

平成28年4月14日

公益社団法人日本気象学会

理事長 新野 宏

監 事 高谷康太郎